

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	221
平成18年度部名	保健福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	リフト付マイクロバス管理・運行事業				
予算上の事務事業名	さがみ湖リフレッシュセンター管理運営事業(本課分)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市相模湖地域リフト付マイクロバス「けんこう号」の使用に関する要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成13年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
介護予防拠点整備事業として国庫補助金により整備したもので、平成12年4月から実施された介護保険制度の円滑な実施を図るため、地域の実情に応じ、高齢者が介護予防や健康増進のための事業を進めると共に、介護知識・介護方法の普及を図ることが必要であり、さがみ湖リフレッシュセンターで行う高齢者事業、市社協へ委託された事業等の送迎を行う。				(2) 対象(誰、何)	
				施設利用者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人相模原市社会福祉協議会に委託により実施 ・生きがいディサービス、生きがい大学等の送迎 ・運行回数 : 215回 ・運行日数 : 170日 ・延べ人数 : 4,248人 ・マイクロバス管理・運行業務委託費 : 1,993,621円 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	2,107	2,010	2,010
一般財源	0	0	2,107	2,010	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	0	0	2,107	2,010	2,010
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	マイクロバス管理・運行事業			対象名称 と単位	利用者(人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	2,107	2,010	2,010
対 象 数	0	0	4,248	4,000	4,000
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	496	503	503
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.01	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	延べ利用者数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ利用者数/前年度延べ利用者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	114.1		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	114.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延べ利用者数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ利用者数/前年度延べ利用者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	114.1		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	114.1		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域性を考慮すると、地域の高齢者のアクセス確保は重要と考える。市社会福祉協議会に運行委託していることも妥当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
生きがいサービスや生きがい大学等参加のため、地域高齢者のアクセス確保のため、更に利便性を考えていきたい。					
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			